

「浦日記」にみる安政五年長州藩におけるコレラ流行



「浦日記」48巻表紙
（山口県文書館蔵）

歴史講演会

本講演会では、幕末期の安政5年（1858年）、海外から流入し日本全土に感染が拡大、長州藩でも猖獗を極めたコレラについてお話します。

ワクチンや治療薬どころか、コレラ菌という病原体さえ知られていなかったこの時代、当時の為政者たちは、どのようにこの未知の恐るべき感染症に立ち向かっていったのか。また後世に何を教訓として残したのか。

長州藩家老として藩政の枢機に参画した
浦鞆負（1795-1870）が記した日記（「浦日記」）を
手がかりに、この課題を探究します。

講師 ■ 土井 浩

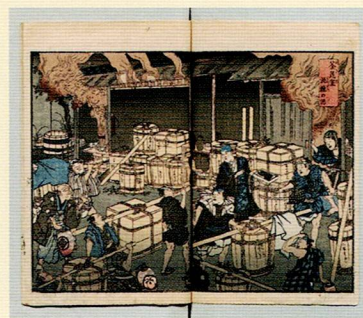
山陽小野田市立
山口東京理科大学 教授

日時 令和8年 2月15日①
14:00～15:30（受付は13:30から）

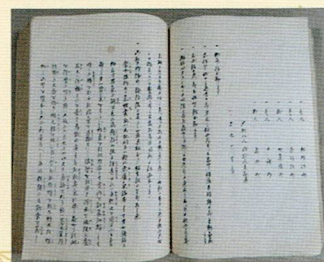
会場 宇部市立図書館 2階 講座室
宇部市琴芝町一丁目1番33号

参加
無料

事前予約不要



江戸におけるコレラ流行の様子
「安政箇労働流行記概略」（国立公文書館蔵）



「浦日記」8月29日条：コレラ予防法
（山口県文書館蔵）

お問合せ
事務局

宇部市学びの森くすのき 宇部市大字船木字内番田361番地6

TEL 0836-67-1277 FAX 0836-67-0691